

南郷小学校誕生

響きあい、ともに高まる南会津つこを目指して

4月6日、南郷第一小学校と南郷第二小学校が統合し、新設された南郷小学校の開校入学式が開催されました。
新入学児童11人が加わり、106人の児童と22人の先生による新たな南郷小学校がスタートを切りました。

新しい伝統を

開校式辞で町長は、「南郷第一小学校と南郷第二小学校で築いてきた伝統を、南郷小学校に互いに引き継いで新しい伝統と校風をつくってください」と述べられました。

また、町長より馬場永好校長へ新しい南郷小学校の校旗が授与されました。



大宅町長より校旗を授与される馬場校長（右）

一緒につくる

開校式に引き続き行われた入学式では、新生南郷小学校の最初の一年生となる11名が入学しました。

馬場校長は「新入生の皆さんは、一日も早く学校に慣れてより多くの友達をつくってください。在校生の皆さんは、小学校の閉校式でのさみしさを乗り越え、新しい友達や先生と出会い、今まで以上の楽しい学校生活を送りましょう」とあいさつしました。

そして、児童を代表して6年生の酒井俊作くんが、「新入生のみなさんは、南郷第一小学校と南郷第二小学校が一緒になって最初の一年生です。たくさんの方達をつくって、一緒に南郷小学校をつくっていきましよう」と元気に歓迎のあいさつをしました。



入学式を終え、ちょっと緊張が解けた一年生たち



歓迎の言葉を述べる児童代表の酒井俊作くん

自由詩の校歌

開校入学式では新しい校歌が披露されました。

南郷小学校の新しい校歌は、一般的な定型詩の校歌ではなく、自由詩で作られています。

(※自由詩とは、音の数や文字数に一定のパターンがなく、音韻を踏むなどしていない、自由な形式で書かれた詩のこと)

作詞を担当された村野井幸雄さんによると、『なでしこジャパン』が世界一になり、『はやぶさ』が宇宙から帰還したこの二十一世紀を生き抜く子どもたちに『宇宙に目を開き、大震災を乗り越えて世界に伸びていく』ことを期待して定型詩ではなく、自由詩に決めました。

南会津地方では唯一の自由詩の校歌。覚えるのは大変だったと思いますが、子どもたちは元気いっぱい、大きな声で合唱しました。



南郷小学校校歌

「宇宙の花」

村野井幸雄 作詞
斎藤 和夫 作曲

風になれ

ヒメサユリ咲く高清水

ブナの恵みをいっぱい

流れもつきぬ

伊南川は

若鮎おどる母の川

春夏秋冬

ふるさとほ

変わらぬ緑伝え来て

ピッピとさえざる

小鳥たち

宇宙にはばたく鷺のい

宇宙に胸を開けよと

明るく元気なあいづっこ

山になれ

ああ 南郷小学校

